
新世紀エヴァンゲリオン 約束

camiiyu

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

新世紀エヴァンゲリオン 約束

【Nコード】

N1773W

【作者名】

camiiyu

【あらすじ】

1999年セカンドインパクト発生
一人の少女が苦しみ悲しみ喜んだ物語
其の少女の名前は「葛城^{ミサト}美里」
なぞの生命体との邂逅をへて（第一使徒）と呼ばれる
少年との出会いと別れそして新たな出会いの物語です

第一 プロローグ

新世紀エヴァンゲリオン 約束

1999年セカンドインパクト発生

一人の少女が苦しみ悲しみ喜んだ物語

其の少女の名前は「葛城美里^{ミサト}」

なぞの生命体との邂逅をへて（第一使徒）と呼ばれる少年との出会いと別れそして新たな出会いの物語です

葛城美里（ミサトと称します）

第一使徒（アダム、アー君）

話はセカンドインパクト1ヶ月前のこと

父につれられて南極の基地にいました

ミサトお前には重大な使命があることを承知でつれてきた

ここにあるアダムと仲良くなること

何かの装置に横たわる少年を指して

父言った

かわいい少年で

弟がいたらこんな感じなのかなと思いました

人目で好感が持てました

うん お父さん絶対に仲良くなつて見せると
胸をたたきました

第一 プロローグ（後書き）

三回目の投稿です

よろしく願います

第二夜 言葉

カプセルのような機械の中にいた少年は
こちらを見ていた

とりあえず 声をかけてみた

こんにちは 私葛城ミサトといいます

あなたの名前は？

ア ダ ム

アダムちゃんね アー君と呼んでいい？

意味がわからないような 顔をしていた

まだ覚醒して間がないから 難しい言葉がわからないのだよと
お父さんが言った 名前ぐらいしか覚えてないんだよ

お父さん お父さん私が教えてもいい？言葉を

うゝむと 考え込むおとうさん

まあいいだろう あまり難しい言葉は理解できんだろうから

お前も難しい言葉覚えていないから

あいうえおからならおしえてもいいぞ

カプセルはマイクとスピーカーの役目を持たせてあるから
話しかければ通じるからと お父さんが言ったので
早速教えてあげることになりました

まずはアー君の名前の

(あ) からね

あ っ いて 見て とカプセルに話しかけた

あーーーーー 伸ばさなくていいから、少しあわてた
あわてたが なぜかうれしくなっていました
変な顔してた アー君
あっ
すぐ覚えたみたい
うふふなんか楽しい

第二夜 言葉（後書き）

あとがきです 言葉を教えていきます
どうなるかは神のみぞ知る

第三夜 前途多難

次は ダ ね

ダ――――

だから 伸ばさなくていいよ（涙）

だ~~~~~もう！

アー君は――――

むつかしい――――

でもかわいいんだよね

顔をかしげたときの表情は

抱きしめてあげたいんだよね

デモできないもどかしさもある

早く出てこれないかな

次は ム ね

ム――――

（+。+）あちゃー

まっいつか

続けていってみて

ア――――

ダ――――

ム――――

そうあなたの名前よ

ア――――

ダ――――

ム――――

ア――――
ダ――――
ム――――
そう何度も言ってみて
ア――――
ダ――――
ム――――
ア――――
ダ――――
ム――――
ナンカ心なしに短くなってみてる

アーダム――
そうそうがんばって
あだむ――
あだむ――
あだむ――

アダム
やっといえたッ(@
ほっと一安心しました
まだまだ難関ですが
がんばって教えたい
@)ノわーい！

第四夜 恋心

アー君との言葉遊びは楽しいにつきます
水が砂にしみこむように言葉を覚えていきます
あいうえおから始まりたどたどしい言葉を使い
会話しきものもできるようになりました

アー君といえば返事もできるようになり
ミサトと私の名前も読んでもくれるように
なりました 表情はまだ硬いですが
なんとなくうれしいのかどうかわかるくらいに
私もわかるようになりました

カプセルの中は居心地がいい？と聞くと
うん、といえるくらいの表情もしてくれて
私もうれしくなります

出してあげたいのは山々だけど
ナンカわからない装置みたいなので
お父さんも許可してくれないのよね
少しすねて言ったら めちゃくちゃ怒られちゃった
2、3日はあわせないなんていわれて
ワンワンないちゃった

思いつきりないた後寝ちゃってた
明日お父さんにもう一度
お願いしようとおもう

アー君と会えないのがこんなに
寂しいなんて思わなかった

さみしいよ
さみしいよ
さみしいよ

アー君 アー君 アー君

あいたいよ

当時の私はアー君に恋してるなんて思いもしなかった
弟みたいに思っていたから

第四夜 恋心（後書き）

ミサトちゃんの初恋のきっかけでした

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1773w/>

新世紀エヴァンゲリオン 約束

2011年10月9日14時55分発行